

平成 27 年度 第 7 回 水辺とみなとのまち部会 会議概要	
日 時	平成 27 年 12 月 2 日 (火) 13:30 ~ 16:00
会 場	市役所本館 地下 1 階 B-101 会議室
出席委員	藤田委員, 田村 (幸) 委員, 外内委員, 青木委員, 大堀委員, 関谷委員, 星野委員, 小島委員, 渡辺委員, 大坂委員
欠席委員	豊嶋委員
事 務 局	小柳主幹, 外川副主査
コンサルタント	エヌシーイー株式会社 2 名
議 題	前回までの経過報告
会議内容	<p>○全国の「開港 150 周年記念事業」等の調査を委託する業者が 11 月中に決定し, 12 月より部会に参加する旨事務局より報告。</p> <p>○11/24 に夏休み「(仮称) 親子で楽しい北前船物語」についてのグループ会議を開催し, 次回部会 (第 7 回) にて報告する。</p> <p>○11/26 に下町 4 コミ協, まちづくり団体とのネットワークづくり・情報交換会についてのグループ会議を開催し, 次回部会 (第 7 回) にて報告する。</p>
議 題	平成 27 年度事業計画について
会議内容 及び 決定事項 等	<p>1 コンサルタント会社の紹介と『(仮称) 開港 150 周年記念事業調査』の調査内容について</p> <p>○平成 26 年度の提言「北前船時代の新たな街並みづくり」を受け, その中の「開港 150 周年に向けた取組み」の一環としてアンケート調査を行う。それに伴い, アンケート調査の対象自治体の選出やアンケート内容の検討を行った。</p> <p>≪調査の視点で大事にしたいこと≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟ならではの特徴とアピール ・市民参加による協働の意識・意欲の醸成 ・次世代の育成 <p><意見交換></p> <ul style="list-style-type: none"> ・川港の良さを生かす。 ・水辺部会の立ち位置・考え方で調べる内容が変わる。 ・海の駅…県内では小木と柏崎 ・水・土には専門の課があるが, 開港関係ではどうか。 ・行政の窓口はどこか。 ・志民委員会との関連 ・食の陣・酒の陣・古町どんどんなど既存のイベントを 150 年に絡め, 1 年を通した祭りにする。 ・エンブレムやマークを作る。

	<p>2 『(仮称)親子で楽しい北前船物語』について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○宿泊でなく日帰り企画に変更 ○7月に1回, 8月平日に1回, 8月休日に1回, 計3回実施予定 ○募集…各30名(小学5年生以上は1人でも参加可) ○募集方法…市報にいがた・HP・チラシにて5~6月頃募集 ○コース…①日和山展望台コース <ul style="list-style-type: none"> ②西大畑白壁通り・旧齋藤家別邸コース ③沼垂地域醸造発酵文化コース の3コースを用意 <p>※可能であれば市役所バスを利用 コースの詳細は相談し, 決定していく。</p> <p>3 『下町地域まちづくり団体とのネットワークづくり』の意見交換会 《行う上での考え方》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化のための150年祭をテーマとして, 自分のふるさとに愛着が持てるよう活動につなげていく。 ・各団体からの要求は, 役所に対して行うものではなく, 自分たちに何ができるのかという視点で考えていく。 <p>4 平成28年1月17日発行の自治協議会だより掲載記事について確認</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
その他	

平成 27 年度 第 8 回 水辺とみなとのまち部会 会議概要	
日 時	平成 27 年 12 月 8 日 (火) 13:30 ~ 16:00
会 場	市役所分館 6 階 602 会議室
出席委員	藤田委員, 田村 (幸) 委員, 外内委員, 青木委員, 大堀委員, 豊嶋委員, 星野委員, 小島委員, 渡辺委員, 大坂委員
欠席委員	関谷委員
事 務 局	小柳主幹, 外川副主査
コンサルタント	エヌシーイー株式会社 1 名
議 題	前回までの経過報告
会議内容	12 月 2 日 (第 7 回部会) 議事概要参照
議 題	平成 27 年度事業について
会議内容及び決定事項等	<p>1 「開港 150 周年記念事業」に関するアンケート調査票 (案) 検討 ○コンサルタント会社よりアンケート調査票 (案) の説明後, 委員で検討を行った。</p> <p><主な意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・周年事業での事業費は答えてくれるものか。 ⇒既に 150 年祭を終えている自治体では決算報告を基に答えてもらうことは可能と思う。 ・都市によって記念事業の規模に違いがある。 ・新潟の青年会議所は横浜と神戸を視察している。 ・横浜と函館は周年事業が終わっていて, 神戸はこれから, 長崎は毎年祭りとして開催している。それぞれに質問の形式を考慮する必要がある。 ・「北前船」や「開港」など, 子どもたちへ歴史教育の一環として, 学校教育への活用について項目を設けては。 ・行政が取り組む (んだ) 項目にシンボルやモニュメントの選択項目を設けては。 ・『みなとぴあ』も 2019 年に 15 周年を迎える。 <p>○アンケート発送…28 年 1 月 15 日頃 ○アンケート回収…28 年 1 月 29 日頃</p> <p>2 『下町地域まちづくり団体とのネットワークづくり』情報交換会開催について ○前回に引き続き, 会議内容について意見交換・情報共有を行った。</p> <p><主な意見></p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・下町地域のまちづくり団体とは別の『150年』を謳っている団体とのコンタクトはどうか。 ・下町に拘らず、広く団体を募り、新しい風を入れたらどうか。 ⇒前期で集まってもらった団体を対象に、まずは『150年』のキーワードを前面に出し、各団体より理解していただくことが先決。その後、他団体を入れていく可能性もあり。 ○1月に案内状を送付 ○案内状は担当者を決め、直接手渡しする。 <p>3 『(仮称)親子で楽しい北前船物語』について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現地視察等、次回、座長が素案を作成し、検討していく。 <p style="text-align: right;">以上</p>
その他	